



JHSA-P15011

平成27年7月16日

中越パルプ工業株式会社 様

公益社団法人日本毛髪科学協会
理事長 木嶋 敬

セルロースナノファイバー懸濁液 (CNF-1 BB-D)のヒトパッチ試験

平成27年7月1日付でご依頼のあった標題について、下記のとおり報告します。

記

1. 試験の目的

健常人の皮膚に対する刺激性の有無の検討

2. 試料

提出された試料は、次のとおりである。

試料：セルロースナノファイバー懸濁液 (CNF-1 BB-D) Lot No. 15F19CNF-1BBD

試験実施検体

検体：セルロースナノファイバー懸濁液 (CNF-1 BB-D) Lot No. 15F19CNF-1BBD

対照品：生理食塩液 Lot No. K3J97

試料をそのまま検体とした。

3. 試験方法

(1) 被験者：年齢21歳から59歳までの健常人日本人、男性16名、女性28名、計44名

(2) 貼布量：0.01mL

(3) パッチ試験の方法：検体をフィンチャンバー（製造販売元 Smart Practice®）を用いて、被験者の上腕屈側部に24時間閉鎖貼布を行い判定した。すなわち、貼布後24時間を経過した時点で検体を除去し、除去後1時間及び除去後24時間にそれぞれ皮膚の状態を観察して判定を行った。

(4) 判定の基準：次の本邦基準によった。

判	－： 反応なし
定	±： 軽い紅斑
基	＋： 紅斑
準	＋＋： 紅斑＋浮腫、丘疹
	＋＋＋： 紅斑＋浮腫＋丘疹＋小水疱
	＋＋＋＋： 大水疱

このパッチ試験の判定は、皮膚科専門医 山口 全一 医師が担当した。

4. 試験期間

平成27年7月14日～平成27年7月16日

5. 試験の結果

被験者44名で行ったパッチ試験の結果は、別表に示すとおりである。

検体除去後1時間（別表には判定時間24時間として示す。）の反応は（－）、そして検体除去後24時間（別表には判定時間48時間として示す。）の反応も、すべて（－）であった。

本報告書は、私が判定した結果に基づいて作成したものに相違ありません。

医師 山口 全一 